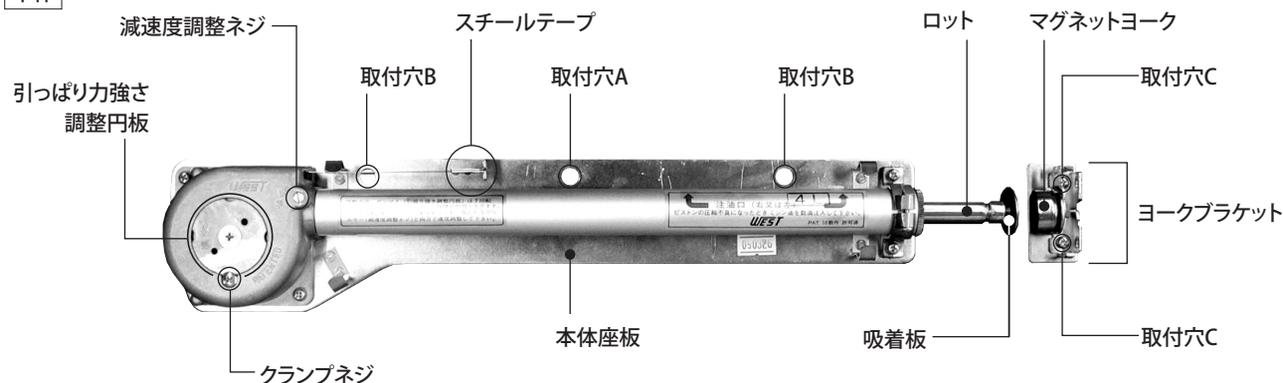


◆ 各部の名称

本体カバー



本体



その他部品



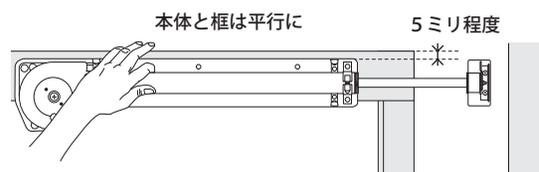
◆ 取り付け方法

1 取り付け前の準備

- ◎ 本体カバーを外し、減速度調整ネジをゆるめてください。
- ◎ ロットをいっぱい引き出して、先端の吸着板にヨークブラケットを吸着させてください（ブラケットカバーは取り外してください）。
- ◎ 本体のスチールテープの先端をつまみ、引き出し⇄巻き込みを数回繰り返してください。
※このとき急に手を離さないでください。テープが巻き込まれる際に、手を傷つけたり、テープが折れたりします。

2 おおよその位置どり

本体の座板をドア上框うえかまちに当てます。敷居から5ミリ程度、下がったところで、本体が框と平行になるように押し付けて、ドアを開めてください。



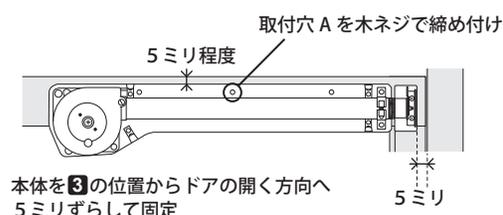
3 正しい位置を決める

ブラケットが枠に当たったまま、再びドアを閉めます。閉まった時にヨークブラケットによってピストンが完全に押し込まれた位置になるよう、本体の位置を調整してください。



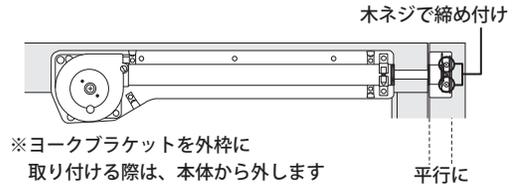
4 正しい位置で固定

3の位置から、本体をドアの開ける方向に5ミリ位置をずらせ木ネジで取付穴Aを締め付け、固定してください。

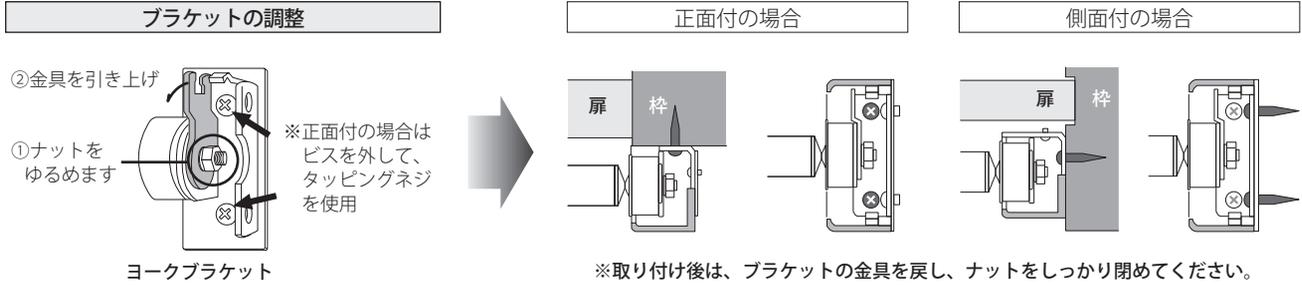


5 ヨークブラケットの位置決め・取り付け

本体からロットをいっぱい引き出し、ロットのぐらつきをなくしてドアを開めます。ヨークブラケットが外枠に当たり、ぴったり平行になった位置でヨークブラケットの取付穴Cから印を付けます。ヨークブラケットを本体の吸着板から外して、タッピングネジで取り付けてください。

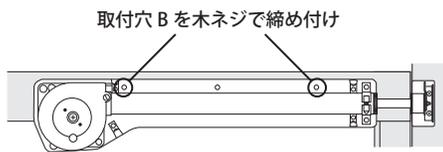


⚠ ヨークブラケットは、まずブラケットのナットをゆるめ、金具を引き上げてから取り付けてください。



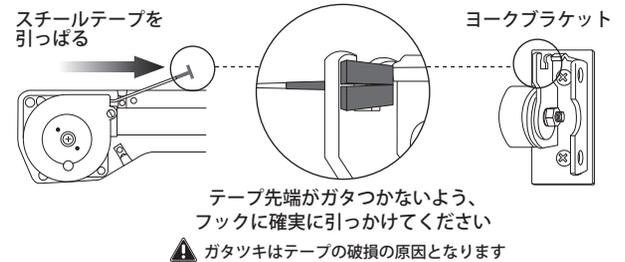
6 本体の固定

本体を框に固定するため、座板取付穴Bをネジ止めします。(2箇所)。



7 スチールテープを引っかける

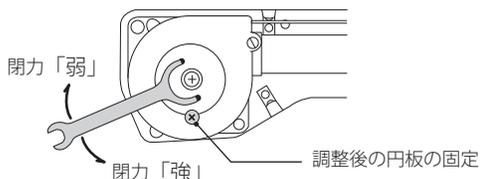
本体のスチールテープをヨークブラケットに引っかけます。



8 調整

【スチール閉力調整】

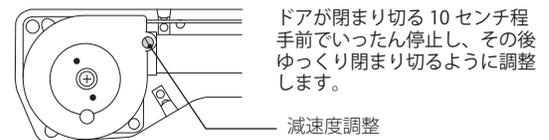
閉力の調整は、添付のスパナで行います。図のように円板止ネジを緩めて適度な強さになるように1段階ずつ調整してください。調整後は、調整円板クランプネジを閉めて円板を固定します。



※調整円板は7回転以上巻き込むと、故障の原因となります。

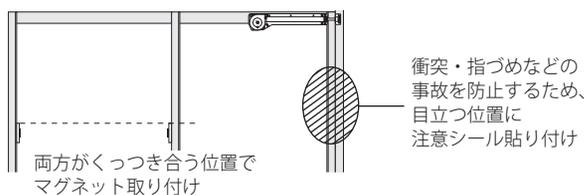
【減速度調整】

ドアを開けると、自動で閉まります(これは、減速度調整ネジを取り付け前に緩めておいたためです)。閉めながら適度な減速になるよう、減速度調整ネジを閉めてください。



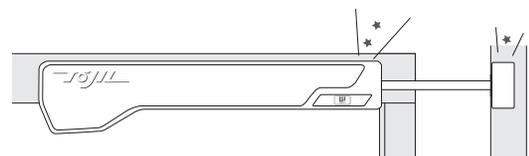
9 ドア開放用マグネット取り付け・注意シール貼り付け

マグネットは、ドアの戸尻・ドア枠に取り付けます。



10 本体カバー取り付け・完成

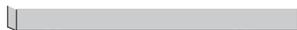
最後に本体カバー・ブラケットカバーを取り付けます。



※完成後は、閉力スパナ・取扱説明書を必ず保管してください。

取り付け前に、必ずご確認ください

□本製品は、ベアリング入りの戸車にのみ、取り付け可能です。



※ベアリングがないものには取付できません。

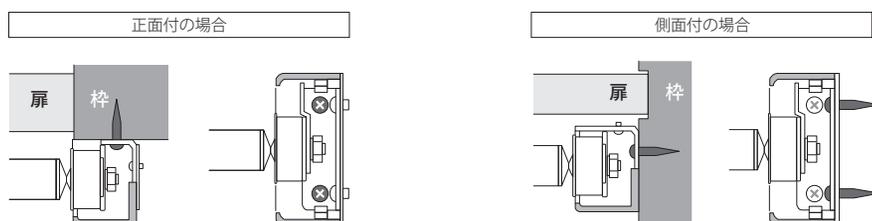
□本製品は、ドア重量30kg以下で作動します。それ以上のドア重量では作動しないことがあります。

□ドアを閉めたときに枠に当たった後の跳ね返りがある…など、ドアは手動でスムーズに開閉する必要があります。

□ドアに不具合(歪み・反り・凹み・曲がり等)がある場合、取り付けできないことがあります。

□ドアがスムーズに開閉するよう、ドア枠周辺に障害物がないことをご確認ください。

□本製品のヨークブラケットは、以下のドア・枠の状況に取り付け可能です。その他の状況では、取り付けできないことがあります。



⚠️ ご注意ください!

※本製品は、戸巾を最大1,200ミリで設計しています。スチールテープを赤いストラップラインより引き出さないでください。故障する恐れがあります。

※取付用ネジは、木製扉／アルミ製扉にはそのまま使用いただけます。

永くご使用いただくためにご留意いただきたいこと

■ 製品取り付け後は、ドアの衝突・指はさみなどの事故にくれぐれも安全にご注意ください。ドア付近で小さなお子様が遊んだり、お体が不自由な方、お年寄りが立ち止まると大変危険です。ご注意ください。

■ ドアの閉じる速度が速すぎると、ドアがお体に衝突したり、挟み込みなど事故の危険性があります。ご注意ください。

■ 取り付け後は必ず、定期的に保守点検を行ってください。各パーツのガタツキや閉力を定期的に確認し、調整してください(閉力調整用スパナは閉力調整時に必要となります。必ず保管してください)。

※特に、取付ネジは、ドアの開閉動作による振動などで少しずつゆるみが生じます。ゆるみが大きくなると、ドアがきちんと閉じなくなることがあります。定期的にネジのゆるみを解消して適正な取付状態を維持してください。

■ 調整円板は7回転以上巻き込まないでください。故障の原因となります。

■ ドアの下部レールに小石やゴミなどが詰まると、動作不良の原因となります。

■ 本体は分解・改造しないでください。中の部分が飛び出して怪我をしたり、正しく組み立て直すことができなくなり、故障や破損、事故の恐れがあります。

■ ピストン圧縮不良の際は、注油口からミシン油を数滴注入してください。ただし油を入れすぎると動作不良の原因となります。

■ 経年変化により扉の垂れ下がり、反り、曲がり、歪みなどが生じて、製品がスムーズに動かない場合があります。ドア全体の修理が必要ですので、速やかに建築物の管理責任者・施工業者・建具メーカーにご相談ください。

■ 雨水などの水滴が直接かからない場所で使用ください。水滴が直接かかる場所での使用は、製品寿命が短くなる場合があります。

■ 製品は予告なく、改良・仕様変更・廃盤になることがあります。万が一、補修などが必要な場合は弊社までお問い合わせください。

製品保証について

当社は、当社が供給する製品に対して、下記に記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理をお約束いたします。
保証期間中に故障・損傷などの不具合（以下「不具合」と称す）が発生した場合には、当社営業担当までご連絡ください。

対象商品

当社が供給させていただく製品・部品

保証期間

指定場所納入後、2年間（電装部品については1年間）

保証内容

取扱説明書、本体ラベルまたはその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に不具合が発生した場合には、
下記に示す免責事項を除き無料修理・交換をいたします。

免責事項

保証期間であっても、次のような場合は有料修理・交換となります。

- 1) 本来の使用目的以外の用途で使用された場合の不具合または、使用目的と異なる使用方法による場合の不具合
- 2) 当社の手配によらない第三者（お客様自身を含む）の分解・組立・取付・修理・改造（必要部品の取外し、他社部品の取り付けを含む）に起因する不具合
- 3) 当社の手配によらない第三者（お客様自身を含む）の加工上、組立上、施工上、管理上、取り扱い上、使用方法上、メンテナンス上等の不備に起因する不具合
- 4) 建築躯体の変形など製品以外の不具合に起因する製品・部品の不具合
- 5) 商品以外の部品（扉、丁番など）に起因する商品の不具合
- 6) 製品又は部品の経年変化（使用に伴う磨耗、消耗など。木製品の反り、干割れ、変色など）や経年劣化（樹脂部品の変質、変色など）又はこれらに伴うさび、カビなどその他類似の不具合
- 7) 本体への異物（例えば、針金、マッチ棒など）挿入、注油、昆虫の侵入、ほこりに起因する不具合
- 8) 製品周辺の自然環境、住環境などが悪い地域や場所での腐食又はその他の不具合（例えば、海岸地域での塩害による腐食、大気中の砂塵・煤煙・各種金属粉・亜硫酸ガス・アンモニア・車の排気ガスなどが付着しておきる腐食、異常な高温・低温・多湿による不具合など）
- 9) 天災その他不可抗力（例えば、暴風・豪雨・洪水・高潮・地震・地盤沈下・落雷・火災など）に起因する不具合

保証期間経過後の修理、交換（作業費を含む）などは有料といたします。

本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので保証期間経過後の不具合については当社営業担当にお問い合わせください。